



【学校教育目標】 日本一 学びあう学校

南風

～ MINAMI KAZE ～

高知市立南海中学校 学校便り No. 14

令和5年5月8日(月) 通算 2160号

高知市長浜 5235 Tel.088-842-3291

夢だけでなく人生をも奪った悲惨な事故

紫雲丸遭難事故から68年

1955年(昭和30年)5月10日、旧国鉄旭駅(現在のJR旭駅)を出発した修学旅行団は、夜行列車で翌朝11日に高松駅に到着、その後、宇高連絡船の紫雲丸(1,480トン)に乗り込みました。その朝、瀬戸内海は濃い霧に包まれていました。午前6時40分に高松港を出た紫雲丸は、6時56分、高松港沖で第三宇高丸(1,200トン)と衝突、船体にできた大きな亀裂から海水が入り込み、わずか4分後に沈没しました。

紫雲丸には、南海中学校の阪神班の修学旅行生117人、引率教員4人が乗っており、このうち生徒28人が尊い命を失いました。遭難記念碑にもある通り、希望を胸に高知を出発した生徒を突然襲った悲劇に、言葉にはできないほどの悲しみや痛みを禁じえません。

四国発展の夢をかけた現在の瀬戸大橋は、紫雲丸のような悲劇が二度と起こらないようにとの願いを込め、この事故から30数年たった1988年(昭和63年)年4月10日に完成した橋です。また、全国の小・中学校に当たり前にあるプールは、この事故をきっかけに泳げない子どもをなくそうと建設されたものです。

この事故から今年で68年、5月11日(木)にご遺族や関係の方をお呼びして追悼慰霊式を行います。ここに、謹んで28柱の御霊のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族や関係の皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念いたします。

紫雲丸遭難者追悼式

- 日時 令和5年5月11日(木) 8:50～9:20
- 場所 南海中学校 紫雲丸遭難記念碑前(少雨決行：荒天時は体育館で実施)
- 式次第

- (1) 立礼
- (2) 開式のことば
- (3) 学校長より
- (4) 生徒会より
(生徒会長 さん)
- (5) 献花



昨年の追悼式(令和4年5月11日)

- ご遺族・同窓生関係者、高知市教育委員会、高知市人権教育研究会、長浜小児童代表、浦戸小児童代表、横浜中生徒会、南海中生徒会、その他関係の皆様
- (6) 黙祷
 - (7) 閉式のことば
 - (8) 立礼



記念碑は28名の犠牲者の慰霊のために、遭難事故から2か月後の昭和30年7月に建てられました。その後、40周年のときに、今の場所、今の向きに移されました。(記念碑では午前6時55分となっていますが、現在では6時56分衝突とされています。)

おかまいのない方はお花の提供をお願いします

5月11日の追悼式で、関係者と代表による献花を行います。おかまいのない方、お花をご提供いただける方は、当日の朝、お花を玄関までお願いします。

花をいける白い花筒は、紫雲丸遭難の時、捜索にあたった潜水夫のひとりである、大賀保夫さん(岡山県玉野市在住)が、十数年ほど前に、慰霊のため南海中学校を訪れた時にいただいたお金で購入したものです。大賀さんは、南海中だけでなく、その時遭難された他の小学校にも訪問されているそうです。

